



郷

志



もくじ

- P2 ・平成30年度業務報告会・令和元年度業務計画発表会
- P3 ・令和2年度職員採用について
- P4 ・複合施設ばあとなあ「生活介護・共生型放課後等デイサービス」
- P5 ・もっと知りたい！雄勝なごみ会職員
- P7 ・平成30年度収支決算状況報告
- ・お知らせ

サン・グリーンゆざわ「みたけ保育園との合同ミニ運動会」より

題字 木村 恒助氏

今年度の事業計画について



社会環境の変化に対応して、社会福祉法人の専門性を見据えるには、当法人が描く将来像に向かうサービス・アイデア・プランの継続的な創造の姿勢が大事となっております。

深刻化する地域縮小社会にあつて、社会福祉法人への期待は高く、その期待に応えるには、基盤強化とその先にある安定経営に欠かせない、人材確保・定着・育成・組織の活性化が一層求められています。そのため、働きやすい環境づくりへの取り組みで、労務・人事管理の充実に職員の士気向上を図ります。

事業面では、複合施設ばあとなあに障害福祉サービスの放課後等児童デイサービスと生活介護の共生事業を開設し、医療的ケアニーズに応えます。

また、各施設・事業所のサービス継続を第一に考え、人員配置の効率化等に取り組んで行きます。

地域貢献では、委員会を中心に実践する平成園、無料低額宿泊所を通し制度の狭間と向き合うサン・グリーンゆざわの活動が示すような公益的な取り組みの充実に努めます。

愛光園は、建替えの検討時期を迎えています。愛光園だけの将来デザインとせず、地域の負託に応える法人将来像を描くべく、法人内で情報を共有する仕組みを形成し、規範的統合・法人一体感の醸成・基盤強化を図ります。

地域に根差す社会福祉法人を掲げ、経営の透明性、組織のガバナンス強化や財務規律の整備による内部統制等を図りながら、資金並びに事業規模の適性化と地域貢献に努めます。時代は「地域共生社会」を標榜していますが、市民やご利用者と共に、法人もより良い地域づくりを目指す住民の一員として、役割を自覚し包括的な支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



平成30年度業務報告会・令和元年度業務計画発表会 開催！

今回の『業務報告会・業務計画発表会』は、法人内の各拠点各部門の職員が一堂に会し、前年度の業務報告や今年度の業務計画を発表することで、互いを知り、相互の信頼関係の強化を目的に計画され、5月24日、東成瀬村地域交流センター「ゆるるん」を会場に、日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科特任教授 高橋美岐子先生、同准教授 藤澤 緑子先生をお招きし、法人職員及び関係者約100名が参加し、開催されました。

当日は、特別養護老人ホーム平成園・障がい者支援施設愛光園・多機能型事業所かざぐるま・特別養護老人ホーム幸寿苑・小規模多機能型居宅介護事業所桜おかだ・特別養護老人ホームいさみが岡・複合施設ぱあとなあとの7事業所から発表があり、主な内容をご紹介します。

特別養護老人ホーム 平成園 ターミナルケア委員会

『最期まで生きることを支えるとは』と題し発表がありました。昨年度の看取りケアの実践からご利用者・ご家族から学ばせていただいた事を検証した実践発表でした。

人生の最期に関わる責任として、声なき声に耳を傾け、本人を理解し続けることが、ケアの専門性ではないかと結びました。



障がい者支援施設 愛光園 理学療法士

『拘縮予防につながる6ポジショニングの取り組み』と題し、発表がありました。ご利用者個々のポジショニングの確立が、筋緊張を弱め、拘縮予防には重要であること。愛光園でも開始し、筋緊張が緩和されてきた実践報告でした。

これからも自分たちがご利用者に対し、できることは何かを問いかけながら頑張りたいと結びました。

多機能型事業所かざぐるま 生活支援員

自閉症のご利用者の事例を通して『その人らしい地域での生活とは』と題した発表がありました。

「障害」を「その人らしさ」と捉え、本人のストレンクス(本人の強み)を中心に捉えた個別支援計画を作成し、環境面での配慮、職員の関わりや対応面での配慮など、これまでの支援経過の実践発表でした。発表内容から、「障害」がその人自身だけにあるのではなく、環境の整備や周囲の方々の理解が広がれば、地域での生活も継続可能であることを学んだ内容でした。



特別養護老人ホーム 幸寿苑 口腔ケア委員会

『また“どぶろく”が飲みたい！！満百歳の挑戦』と題した発表がありました。満百歳の誕生日を一か月後に控えたご利用者に、「いくらかでも元気な姿で迎えられないものか？」「少しでも口から食べることはできないものか？」「大好きな酒っこと「がっこ」が食べられないものか？」との思いから、歯科医師の指導を仰ぎ、口腔ケアの実施、食事などの工夫、日々時間を見てはマッサージを継続し、無事百歳を迎えられた実践報告でした。改めて日々の介護と多職種連携の大切さを学ぶことができた内容でした。



小規模多機能型居宅介護事業所 桜おかだ 介護職員

アクティビティ(遊び・体験)を大切に『自立支援に向けた取り組みについて』と題しての発表がありました。その人らしさを大切に「アセスメントの重要性」と「アクティビティ」を通じ、ご利用者がもてる「力」を失わない介護を目指し実践した内容でした。

今年度も、ご利用者一人ひとりに寄り添い、身体機能や意欲など、ご利用者の持てる力をなくさない事を目標とし個別に適応したアクティビティを考え、チームとして取り組んでいきたいと結びました。

特別養護老人ホーム いさみが岡 介護職員

『防災は日頃の備えとみんなの協力』と題し、日常の備えの重要性と各種災害を想定した避難訓練の実施、各種消防用設備、建物の点検など、防災担当委員会の活動内容や昨年度実施した湯沢警察署との合同避難訓練の様子を紹介した発表がありました。改めて防災の重要性を認識させられた内容でした。

複合施設 ぱあとなあ・多機能型事業所 かざぐるま

調理部門

「食事から笑顔！」と題し、食べた人が笑顔になる食事、目で香りで味わって季節感を感じる食事、「地物」「旬」にこだわった食事を目標に、栄養士と調理員、支援員がチームで取り組んでいる活動内容を写真も交えての報告がありました。

季節感を意識したメニューの開発や、各ご利用者の個別支援計画からのニーズ把握を踏まえたメニュー開発など、職員の意欲が伝わる内容でした。



講評



藤澤先生より、「多くの発表の中で“ご利用者に寄り添い”、“ご利用者から学ばせていただいた”という言葉があり、ご利用者ご家族に対し、敬意をもち専門的介護を行っている様子に大変感銘を受けました」等などの温かい講評をいただきました。

高橋先生からは、「ふり返りやアセスメント、専門職としての気づきがこれからの介護で重要になる。その為には、職員が向上心を持ち続ける事、職員間のチームワークが重要である事」等など、温かく勇気づけられる講評をいただきました。



社会福祉法人雄勝なごみ会 令和2年度職員採用について



1. 募集職種・採用予定数・受験資格等

- (1) 事務職員 2名
大学または高校で簿記2・3級資格程度
- (2) 介護職員等 10名
・社会福祉士(※)
・介護福祉士(※)
・保育士(※)
※資格取得見込みを含む
・介護支援専門員
- (3) 看護師(准看護師可) 3名

3. 給与等

	事務職員	介護職員等	看護師
大卒	178,600円	178,600円	199,200円
短大(専門学校)卒	159,000円	159,000円	178,600円
高卒	146,400円	146,400円	

社会保険、雇用保険、有給休暇、介護休暇、育児休暇等福利厚生完備
通勤手当、夜勤手当(6,000円)等各種手当あり

4. 採用条件

- (1) 採用年月日 令和2年4月1日
(2) 勤務先 当法人が運営する施設及び事業所
(3) 採用原則、正職員採用

5. その他

受験・採用等に関するお問合せは、下記の社会福祉法人雄勝なごみ会法人本部にご連絡下さい。
☎0183-52-5210(午前8時30分～午後5時15分)

2. 試験日程等

- (1) 日時 令和元年9月20日(金) 9時20分から
(2) 試験会場 特別養護老人ホーム平成園
(3) 試験方法 作文・面接試験
(4) 合格発表 試験後14日以内に通知します

※ 受験案内は、雄勝なごみ会ホームページに掲載しています。
<https://ogachi-nagomi.net/>

複合施設ばあとなあ

『生活介護・共生型放課後等デイサービス』

近年、全国的に人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な障がい児が増加し、地域での支援体制の構築が必要とされています。

そこで、平成31年4月より、複合施設ばあとなあの生活介護事業所を母体に、医療的ケア（痰吸引・経管栄養）等が必要なお子さんにも対応した『生活介護・共生型放課後等デイサービス事業所』を開設しました。放課後または学校の休業日に、生活能力の向上のために必要な療育・発達訓練、地域社会との交流の促進、医療的ケアの提供等、保育士・児童指導員・介護福祉士・理学療法士・看護師が一人ひとりの個別支援計画に沿ってチームで支援します。



「どんな重い障がいがあっても、誰もが感じる出会いへのドキドキ感ワクワク感・・・それは生きる希望となり、力となって、人は人の中で育っていくことを実感することができる」

平成13年度、国の『障害者ケアマネジメント推進事業』（モデル事業）を雄勝町福祉会が受託し、愛光園が日湯沢市地域を中心に相談事業等を実施しました。様々な福祉制度が必要な方々との出会いと、地域での相談事業の必要性を実証した事業でした。

平成15年度からの「支援費制度」では、残念ながら障害者相談事業は制度化されませんでした。そこで、雄勝町福祉会では、自主事業として平成16年「障害者（児）の地域生活に関する相談・支援補助事業」を愛光園にて実施しました。



その事業の中で『障害者（児）の地域生活を考えるフォーラム』を開催し、ご登壇いただいた、知的障がいのある子どもを育てながら、自宅内で各種制度によらない、乳幼児から高齢者のレスパイト事業、介護サービスを行っていたパネリストから

「頼りたくとも地域に頼れる所がすぐ見つからない。この地域に生まれた一人ひとりの子どもを平等に、大切に育てる地域社会であってほしい」

とのメッセージがありました。このメッセージはズシリと心に響き、今でも心に残っています。



この事業から12年経過した平成28年4月、湯沢雄勝地域待望の「放課後等デイサービス事業所」が多機能型事業所がざくまに開設され、支援が必要な子どもたちが月～土曜日週六日元気な声を響かせています。そして、平成31年4月開設した『生活介護・共生型放課後等デイサービス事業所』では、既に医療的ケアの必要な3名のお子さんが利用を開始しております。

ステキな笑顔に会いに、ばあとなあにぜひお越しください！



もっと知りたい！ 雄勝なごみ会職員

このコーナーは、雄勝なごみ会職員の中から、勤務して約1年目・5年目・10年目・15年目の方々に登場ねがいました。



ご利用者の“心”を大切にした介護で、自立をささえた！

特別養護老人ホームサン・グリーンゆざわ
介護職員

平成30年度採用 中国出身
張 淑華 さん

私は今、こんな仕事をしています！

私は、人とのふれあいが大好きで、介護の世界を選んで1年がたちました。施設では、食事の介助、入浴の介助などを行っています。言葉の壁がありますが、“張さん！”とご利用者から声をかけていただいた時は、特に楽しくなり、一生懸命日本語で対応しようと頑張っています。

早く言葉の壁を乗り越え、もっともっとうちの利用者の“心をつつむ”介護を行いたいと思います

雄勝なごみ会のここが好き！

職員の皆さんが、“張さん！”“張さん！”と声をかけてくれ、優しいところが好きです。



地域で生きていこうと
している彼らに
寄り添いたい！

ばあとなあ相談支援事業所
相談支援専門員

平成26年度採用 湯沢市出身
高橋 絵里香 さん

私は今、こんな仕事をしています！

ばあとなあ相談支援事業所にて、相談支援専門員として勤務しています。

地域で生活する障がい者・児童・そのご家族から生活課題についての相談を受け、本人の希望する生活に向けて一緒に考え、気持ちに寄り添い、伴走していく相談支援の仕事をしています。

「この相談員と出会ってよかった」と思っていただけのように、心の声を聴き、受け止めることのできる相談員を目指して、日々勉強中です。

雄勝なごみ会のここが好き！

湯沢雄勝地域のそれぞれの拠点に施設があり、高齢・障害それぞれの事業所もっているため、地域で困ったことがあれば相談できる環境や、必要時には連携して支援ができることが心強いです。



社会福祉法人雄勝なごみ会 平成30年度 収支決算報告書

■資金収支計算書 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) (単位:円)

収入の部		支出の部	
事業活動による収入	2,310,934,627	事業活動による支出	2,100,513,273
施設整備等による収入	911,190	施設整備等による支出	88,614,979
その他の活動による収入	18,702,105	その他の活動による支出	46,563,177
収入合計	2,330,547,922	支出合計	2,235,691,429
当期資金収支差額合計		94,856,493	
前期末支払資金残高		939,963,634	
当期末支払資金残高		1,034,820,127	

■事業活動計算書 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日) (単位:円)

収益の部		費用の部	
サービス活動収益	2,293,247,531	サービス活動費用	2,273,834,366
サービス活動外収益	17,689,096	サービス活動外費用	4,707,738
特別収益	911,188	特別費用	1,709,238
収益合計	2,311,845,815	費用合計	2,280,251,342
当期活動増減差額(A)		31,594,473	
前期繰越活動増減差額(B)		2,111,945,767	
その他の積立金取崩額(C)		3,000,000	
その他の積立金積立額(D)		21,500,000	
次期繰越活動増減差額(A)+(B)+(C)-(D)		2,125,040,240	

■貸借対照表 (平成31年3月31日 現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,144,634,659	流動負債	251,386,688
固定資産	3,690,863,238	固定負債	551,555,939
		負債の部合計	802,942,627
		純資産の部	
		基本金	28,675,000
		国庫補助金等特別積立金	1,574,340,030
		その他の積立金	304,500,000
		次期繰越活動収支差額	2,125,040,240
		純資産の部合計	4,032,555,270
資産の部合計	4,835,497,897	負債及び純資産の部合計	4,835,497,897

*詳細につきましては、雄勝なごみ会事務局・各事業所で閲覧できますのでお申し出ください。
*ホームページでもご覧頂けます。

夏まつりの日程

お知らせ

- 7/21(日) 平成園
- 7/26(金) 幸寿苑・いさみが岡
- 7/27(土) 愛光園
- 8/3(日) サン・グリーンゆざわ
- 9/1(日) ぱあとなあ・かざぐるま
地域交流イベント(防災フェス)

※詳しくは各事業所にお問合せください。

法人地域公開研修会

「湯沢市における地域共生社会実現に向けて」

日時 7月20日(土) 13:30~16:45

場所 湯沢グランドホテル

■詳細は法人ホームページに掲載しております。
<https://ogachi-nagomi.net/>

社会福祉法人雄勝なごみ会 連絡先一覧

法人本部	☎ 0183-52-5210	特別養護老人ホーム サン・グリーンゆざわ	☎ 0183-72-6688
障がい者支援施設 愛光園	☎ 0183-52-4313	サン・グリーンゆざわサテライト型 特別養護老人ホーム 桜おかだ	☎ 0183-72-8787
特別養護老人ホーム 平成園	☎ 0183-52-5210	小規模多機能型居宅介護事業所 桜おかだ	☎ 0183-72-8717
ぬくもりの里たてやま	☎ 0183-52-3330	特別養護老人ホーム 幸寿苑	☎ 0182-47-3261
複合施設 ぱあとなあ	☎ 0183-72-8107	東成瀬村デイサービスセンター なるせ	☎ 0182-47-3512
多機能型事業所 かざぐるま	☎ 0183-72-1616	特別養護老人ホーム いさみが岡	☎ 0183-79-5753



日々その人らしい
生活を送れるように
取り組みたい!

障がい者支援施設 愛光園
副主任生活支援員
平成21年度採用 山形県真室川町出身
庄司 瞳 さん



私は今、こんな仕事をしています!

障がい者支援施設愛光園では、今年からフロア制を始めています。始めたばかりで慣れない所もたくさんありますが、以前よりもっとご利用者との関わりを大事にして日々支援をしています。

今後の目標としては、ご利用者に寄り添いながら何ができるのかを考え行動に移し、その人らしい生活を送れるように努力していきたいです。また、職員からの意見もたくさん取り入れて、より一層働きやすい環境を整えていきたいと思っています。

雄勝なごみ会のここが好き!

さまざまな事業所があり、どんな事にでも対応が出来る所、また職員同士も切磋琢磨しながら向上していける所だと思います。



より深く、
ご本人の思いを
理解し続けたい!

特別養護老人ホーム 平成園
副主任介護職員
平成14年度採用 湯沢市出身
高橋 大介 さん



私は今、こんな仕事をしています!

私は現在、平成園の特養部門で入居者の生活を支えるお手伝いをさせて頂いています。

今後の目標は、入居者の気持ちに寄り添い、笑顔や思いを引き出せる様な関わりが出来る介護福祉士になりたいと思っています。

ご利用者の思いや意欲を実現に結び付ける力を身に付ける為に、より専門的な知識と技術を習得したいです。

雄勝なごみ会のここが好き!

2人目の子供が生まれた時に育児休業を取得しました。初めに職場に相談した時も背中を押してくれました。仕事と子育てを両立していく上で相談しやすい環境です。

